

研究課題別事後評価結果

1．研究課題名： 高等菌類におけるホルモンの解明

2．個人研究者名

呉 静 （静岡大学 農学部 特任助教）

3．事後評価結果

高等キノコにおけるホルモンはいまだ証明されておらず、本 ACT-X 研究では、ホルモン候補化合物の子実体形成促進作用を見いだしており、そのホルモンとしての証明を目指した。ステロイド類を含むいくつかの化合物はホルモンとなる可能性を見いだした。これらは多数のキノコ類で見いだされており、ホルモンとしての可能性も高い。一方、キノコが子実体を発生させる直前に分泌する液体 Fruiting liquid に着目した天然物単離もオリジナリティーが高く、種々の新規天然物の単離に成功した。ホルモンとしての証明をするために、今後は化合物の標的タンパク質の同定と、そのタンパク質を含めた作用機序解析が重要となる。ACT-X で習得した知識と研究者間の交流を活かしながらさらなる発展が期待される。